

# 生物基礎の全体像

年 組 氏名 \_\_\_\_\_



【目的】「生物基礎」を学習する上で軸となる以下の重要な概念を理解する。

- ① 生物は共通の祖先から進化し多様になってきた。(共通性と多様性)
- ② 生物をみる視点にはミクロからマクロまで様々なスケールがある。(階層性)
- ③ タンパク質が生命活動の主役であることを知る。

【目標】以下の問いに、自分の説明が出来るようになる(自分なりの表現で)。

- ① 「生物世界の階層性」って何？
- ② 「タンパク質」って生物にとってどういうもの？

【ポイント】生物には「階層性」がある。

原子—低分子—高分子—細胞—組織—器官—器官系—個体  
個体—個体群—生物群集—生態系—地球

生命活動はタンパク質の活動(はたらき)である。

生物は細胞でできているが、その細胞で見られる生命活動の主役は、タンパク質である。細胞の中にはそれぞれにはたらきの異なるさまざまなタンパク質がある。

【課題】

1. 教科書の p①~③、1~4を読んで理解しなさい。
2. 「生物世界の階層性」とは何か、自分の言葉で説明しなさい。
3. 教科書のそれぞれの章がどの「階層性」にあたるか、理由とともに説明しなさい。
4. 生物にとって「タンパク質」とはどのようなものか、自分の言葉で説明しなさい。